

事業報告書

事業期間
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

本部
母子父子福祉センター
ゆたか保育園
わかば保育園
売店

社会福祉法人 豊中市母子寡婦福祉会

平成 28 年度 社会福祉法人豊中市母子寡婦福祉会 事業報告書

1. 事業報告

(1) 会議

- | | |
|---------------|--|
| ① 運営会議（定例） | 年間 9 回開催 |
| ② 臨時運営会議 | 開催無 |
| ③ 理事会・評議員会・監査 | 評議員会：H28. 5. 26/H28. 12. 21/H28. 3. 28
(3 回)
理事会：H28. 5. 26/H28. 9. 27/H28. 12. 21
H29. 2. 27/H29. 3. 28 (5 回)
監査：H28. 5. 23 (1 回) |

(2) 生活支援事業

- ・ひとり親家庭等日常生活支援事業（豊中市からの委託事業）

(3) 広報活動事業

- | | |
|--------------|-------------------------|
| ① 広報部活動 | 随時 |
| ② 事業案内発行 | 随時 |
| ③ 「大阪ぼしれん」配布 | 年 4 回（5 月・8 月・11 月・1 月） |
| ④ ホームページの更新 | 随時 |

(4) 母子及び寡婦福祉法第 25 条に係る売店事業・飲料水自動販売機事業

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| ① 市立豊中病院内売店事業 | 「ローソン市立豊中病院店」の経営 |
| ② 飲料水自動販売機事業 | 市内 6 箇所（8 台）販売手数料：1,668,264 円 |

※上記で得た収入は、センター夏まつり・お母さん旅行等の事業費の一部に充当した。

(5) 会員自主事業

- | | |
|---------|---------------------------------|
| ① 趣味の講座 | ペン習字（毎月第 1・第 3 金曜日）年間参加人数 222 名 |
| | 編み物（毎月第 2・第 4 火曜日）年間参加人数 86 名 |

(6) 会員の交流活動

	事業名	事業内容
(1)	ハイキングに行こう	・ JR生瀬駅より武田尾廃線跡ハイキングコースを楽しみ、無料の足湯で親睦を深めた。参加者(10名) 4/16(土)
(2)	茶話会	・ 手作りの健康ジュースを作り、手芸やカラオケをして交流を図った。参加者(12名) 4/29(金・祝)
(3)	お母さんバス旅行	・ 和歌山湯浅にて醤油蔵を訪れ、海の幸いっぱいのお食事のあと、蒔絵体験でお盆作りを楽しみながら寡婦さん同士の交流を深めた。参加者(29名) 5/22(日)
(4)	ホウ酸団子作り	・ 玉ねぎ・ホウ酸等を使って、夏になって困らないように手作りホウ酸団子を仲間と一緒に作る楽しさを味わった。参加者(13名) 6/8(水)
(5)	押し花クラフト	・ 色とりどりの可愛い押し花を使って、コースターとしおりを完成させた。仲間同士わきあいあいと作品作りを楽しんだ。参加者(10名) 7/13(水)
(6)	センター夏まつり	・ 母子父子福祉センターとゆたか保育園においてセンター夏まつりを初開催。ひとり親家庭の親子、寡婦のみならず地域の方々も多数ご参加いただき、楽しく交流深めた。かわいい子供スタッフが接客することもカフェや押し花教室などたくさん出店し、多くの会員さんにご協力いただいた。マチカネくんやミニ消防車も人気であった。センター事業と共催。参加者(約 300名) 8/21(日)
(7)	ハイキングとラーメン博物館	・ 阪急池田駅からランチ会をはさんでラーメン博物館までの約 1 kmのハイキング。おしゃべりやチキンラーメン作りを楽しみながら会員同士の親睦を深めた。参加者(19名) 10/15(土)
(8)	お茶会	・ お抹茶をたて、茶道を楽しみ、和菓子をいただきながら交流をはかった。参加者(10名) 11/9(水)

(9)	京都イルミエールバスツアー	・るり溪温泉でのお食事とイルミエール鑑賞を楽しみながら、寡婦さんと母子会員さんが交流し、親睦を深めた。参加者（45名） 12/4(日)
(10)	祝箸袋づくり	・お正月を迎えるにあたって、華やかな箸袋を自分たちでつくって交流を深めた。参加者(12名) 12/14(水)
(11)	クッキング	・寡婦さんが皆で料理（焼きそば）を作りながら楽しみ、出来上がった料理をいただきながら交流、親睦を深めた。参加者（11名） 2/8（水）

(7) 相談事業

子育て・就労・生活等に悩んでいる母子家庭及び寡婦並びに父子家庭の方へのサポートをした。(離婚前相談にも対応)

2 大阪府母子寡婦福祉連合会事業

- ◇ 母子家庭母の集い 7/24(日) 22名参加
- ◇ 母子寡婦福祉大会 2/4(土) 25名参加
- ◇ 奨学金給付式 6/13(土) 19名授与される。年額：6万円
- ◇ カーネーション旅行 8/28(日) 4組11名参加

平成28年度 事業報告書

豊中市立母子父子福祉センター

自平成28年4月 1日
至平成29年3月31日

事業名	事業内容
就労支援講座	同行援護従業者研修 6/2～7/21(木) 8回 定員20人 受講者 15人 保育利用者1人 受講者合計120人 保育利用者合計8人 総人数128人 資格修了証認定者数15人
	ビジネスパソコン基礎講座 ワードコース 9/8～10/6(木) 4回 定員15人 受講者11人 保育利用者0人 受講者合計43人 保育利用者合計0人 総人数43人 検定試験受験者数5人 合格者数4人
	ビジネスパソコン基礎講座 エクセルコース 10/13～11/17(木) 5回 定員15人 受講者8人 保育利用者0人 受講者合計37人 保育利用者合計0人 総人数37人 検定試験受験者数3人 合格者数2人
	事務職をめざすための 日商簿記3級検定対策講座 9/11～11/13(日) 20回 定員20人 受講者 14人 保育申込者2人(保育利用者1人、1名辞退) 受講者合計203人 保育利用者合計18人 総人数221人 検定試験受験者数13人 合格者数4人
	介護職員初任者研修 11/27～3/26(日) 16回 定員16人 受講者15人 (途中1人棄権) 保育利用者2人(途中1人棄権) 受講者合計225人 保育利用者合計12人 総人数237人 資格修了証認定者数14人
学習支援講座	ひとり親家庭学習支援教室 4/9～3/25 毎週(土) 【4月第1(土)・休館日・日祝除く】 年間授業数50回 年間出席者数 中学生407人 高校生200人 合計607人 ※冬期講習 12/23(祝)・12/26(月)・1/5(木) 計3回 出席者数 中学生20人 高校生4人 終日(午前と午後のどちらも)参加する生徒さんが多く、進路指導や学習計画を、個別に行うことにより個々の学習意欲を高めることができました。冬期講習を開催し、長期の休み中も勉強をする習慣が身に付きました。クリスマス会やお疲れ様会を開催し、交流と親睦を深めました。
生活支援セミナー	奨学金制度説明会 7/3(日) 定員30人 参加者25人 (後日資料のみ配布者4人) 内容：日本学生支援機構や大阪府育英会、母子寡婦福祉資金、豊中市奨学金、国の教育ローン、社会福祉協議会の教育資金貸付制度についての説明、質疑応答 講師：豊中市進路選択支援事業 相談員 (社福) 豊中市社会福祉協議会貸付相談員 豊中市こども未来部こども政策室 貸付担当者
相談	平日 (10:00～16:00) 年間相談件数 面接59件(内父子2件) 電話127件(内父子11件) 合計186件
	弁護士相談 年間相談件数 夜間26件 土曜日24件 合計50件(内父子4件)
	専門相談 年間相談件数 28件

事業名		事業内容
レクリエーション	母子・父子バスツアー	5/14 (土) 定員85人 行き先：南紀白浜アドベンチャーワールド 親 (母) 36人・中高生8人・小学生以下32人 合計76人参加 (うち小学生1人当日欠席) 南紀白浜アドベンチャーワールドに行き、迫力のあるサファリをケニア号に乗って観てまわったり、可愛らしいしぐさのパンダと記念撮影をしたり、美しいイルカたちと調教師の見事な饗宴のショーをみたりと親子でパークを満喫できました。また、昼食はバイキング形式で各々好きなものを自由に取って、参加者同士楽しく会話を楽しみながら交流することができました。
	母子父子福祉センター夏まつり	8/21 (日) 参加者：概ね300人 開催場所：母子父子福祉センター・ゆたか保育園 センター初開催となる夏まつりは、ひとり親家庭の親子、寡婦のみならずたくさんの方々に参加いただき、楽しく交流を図ることができました。特にこどもカフェでは可愛らしいこども店員さんの接客が好評で、カレーライスは予定数すべて売り切れになりました。こどもたちも、初めての接客はとても楽しかったとの感想を寄せてくれました。ミニ消防車やマチカネくんの着ぐるみも大人気で、記念撮影をしたり、握手や抱き着きに行くなど楽しくふれあうことができました。
	ハロウィン親子クッキング	10/30 (日) 定員10組20人 母4人・こども4人 合計8人 (キャンセル：母1人・こども2人) 会場：豊中市立蚩池公民館 親子で煮込みハンバーグとかぼちゃのポタージュを調理しました。低学年のこども達も積極的に包丁を使って玉ねぎを刻んだり、ハンバーグをこねたり親子で仲良く作ることができました。参加者同士和やかにおしゃべりしながら食事をした後、こ
	親子で楽しいクリスマス会	12/11 (日) 定員60人 (母と子、父と子) 親 (母) 22人・親 (父) 1人・こども 31人 合計54人参加 ジャグリングショーや女性消防団によるクリスマス演奏会を楽しんだり、デコパージュでオリジナルバッグを作成したり、ランチ会などを通して、母子家庭・父子家庭の親子同士の交流を深めました。
貸室	会議室	年間合計 295件/4,278人
	和室	年間合計 212件/1,734人
	会議室・和室 合計	年間合計 507件/6,012人
研修	母子相談員研修	相談員2人 年18回受講
	人権研修	常勤職員2人 年2回受講
安全管理	消防訓練 講習会 設備点検	消防訓練年1回実施・安全管理合同会議年1回 非常時通報装置使用方法の講習会年1回実施 設備点検 (消防・自動ドア・電気・空調)

平成 28 年度 ゆたか保育園事業報告書

1. 基本方針

保育課程にのっとり、子どもたちの美しい心を育む
健やかなからだを育む
豊かな夢を育てる

を保育理念とし

保護者に安心、信頼していただける園運営目指し保育の中で工夫や

一人ひとりの子どもの特性を生かし、それを伸ばせるような保育を職員会議やミーティングにおいて職員全員で考え、実践していくようにした。

多様な保護者に安心していただけるような支援に努め、外国籍の方、育児困難を抱える方など保護者の立場に立ち、親切に、丁寧に関わり全ての家庭が、安心しあえる関係を築いていくようにした。

家庭での食生活、生活習慣が子どもたちの心と体をつくり、また保育園生活においても保育・給食・保健が連携し合い、食べること、作ること、体を守ること、自分を大切にすること、命のつながりなど、ゆたか保育園ではそれらのことを保育方針、保育目標として保育を充実させるよう努力し、保護者との信頼関係を築いた。

(1) 保育の充実

- ・乳幼児の発達保障のための落ち着いた日常生活を大切にした保育方針をもとに、乳児クラスは、育児担当保育を行い大人との愛着を大切にして、個々に応じた保育を丁寧に行っていき幼児期に繋げていった。また幼児クラスは、乳児期に培った愛着をもとに、自分の事を好きになり、友だちとの関わりも深めていった。
- ・園の活動や行事の目的を明確にし、実施し、活動の評価を行いながら、子どもたちの成長や満足感を引き出す工夫をし、子どもたちに必要な体験と成長を考えた保育を行い、園と子どもたちで楽しい毎日を積みあげていった。

(2) 保護者への支援

- ・担当保育士やスマイルサポーターを中心に、発達支援児を抱える保護者に寄り添い保護者の希望もあり、月に1回程度の懇談を行う。保護者の気持ちが安定し、子どもとの生活に安心できるような子育て支援となる保育を行うようにした。子どもの発達や育児不安など支援の必要な家庭はあゆみ学園保育所等訪問支援や療育施設（青い鳥・おはな・サンキッズ・チャイルドハート）との連携を行った。

(3) 地域交流事業

キッズランド・スイトピー（地域交流事業）、保育園行事参加、異年齢交流事業、世代間交流事業に取り組み、地域を含めて親子の育ちを応援した。

(4) 職員育成

新卒入職する職員、臨時職員、中堅以下の職員の保育力、専門性の向上
また主任をはじめとしたベテラン職員による後輩育成の流れをつくるようにし、
研修、見学などを経て気づきを得る機会を設け職員同士の意見の交し合いができるようにした。

(5) 運営の組織化

各会議の定例開催を図り、保育・保健・給食それぞれの課題共有と解決を図り、
人事考査、園の定員数、職員数の見直し、運営の充実の検討を重ねていった。

2. 児童定員 定員 50 名

H28 年 4 月 1 日 57 名（弾力化）

年齢児	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2 歳児	1 歳児	0 歳児	合計
クラス名	ゆり組	ばら組	ひまわり組	こすもす組	すみれ組	さくら組	
人数	7 名	15 名	10 名	12 名	8 名	5 名	57 名
内障がい児 (担任加配)	1 名	1 名	0 名	1 名	0 名	0 名	2 名

H29 年 3 月 31 日 59 名（弾力化）

年齢児	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2 歳児	1 歳児	0 歳児	合計
クラス名	ゆり組	ばら組	ひまわり組	こすもす組	すみれ組	さくら組	
人数	7 名	14 名	10 名	12 名	10 名	6 名	59 名
内障がい児 (担任加配)	1 名	2 名	0 名	1 名	0 名	0 名	3 名

3. 保育園開園時間

午前 7 時 00 分～午後 6 時 30 分

午後 6 時 30 分～午後 7 時 00 分（延長保育）

4. 職員配置（H28 年度 3 月）

園長（1） 主任保育士（1） 保育士（11） 看護師（1） パート保育士（3）

朝・夕・土曜日パート保育士（3） 保育補助（2） 事務（1）・・・23 名

嘱託医[内科・歯科・眼科・耳鼻科]（4） 委託調理師・調理員（2） 委託栄養士（1）

5. 運営方針

(1) ゆたか保育園の運営管理を円滑に行うために次の会議を開催した。

- ・職員会議 月1回 定例会議
- ・保育会議 月1回 定例会議
- ・障がい児担当者会議 年3回
- ・昼ミーティング 毎日その日の伝達事項の確認を行った。
- ・アレルギーミーティング 毎日次の日のおやつ・給食のチェックを行った
- ・食育会議 月1回
マルワの調理師、栄養士、担当者と意見を交換し、安全・安心な食事の充実を図っていった。
- ・保健会議 月1回
保健、衛生に関することを看護師中心に話し合い、知識も高めていった。
感染症報告（突発性発疹・ヘルパンギーナ・水痘・感染性胃腸炎・マイコプラズマ肺炎・インフルエンザ、アタマジラミ）
保護者・担任・看護師・調理師によるアレルギー面談（月1回）を行い、変わった事などがあれば食育会議、保健会議で伝えた。
食物アレルギーマニュアルの確認をし、アナフィラキシーショックやけいれん等の対応についても全職員で再確認した。
エピペンの使用講習については、新職員と希望職員に実施した。
- ・クラスミーティング、乳児会議、幼児会議 月1回及び随時
より良い保育を行うため、保育の内容や行事について話し合いを行い、保育士の共通認識とした。
- ・運営委員会 年2回
- ・施設会議 月1回 定例会議
- ・苦情解決委員会 今年度は、苦情解決委員に報告する苦情はなかった。
- ・園内人事委員会 随時

(2) 各種係を設置し職員全員が分担し運営した。

- ・行事係
 - *プール開き、終い *七夕の集い *ふれあいカーニバル（運動会）
 - *豚汁会 *作って遊ぼう *もちつき大会 *お楽しみ会 *新年のつどい
 - *生活発表会 *修了式 *誕生会
 - *敬老会は、麻疹流行疑いの為中止とした
 - ・地域支援
- キッズランド・スイトピー・園行事に参加・世代間交流事業・異年齢交流事業
- ・避難訓練実施計画と実行

6. 保育方針

(1) 基本方針

- ・保育はクラス別基本方針にのっとり安心安全で楽しく成長促進となる保育園生活を営む。
- ・最低基準を遵守し、園児の安定を大切にする。

クラス別保育方針は次の通り

- 0歳児クラス：発達の違う乳児に応じた保育を工夫する。
(8か月から) 生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
- 1歳児クラス：保育士と安心できる関係を築き、食事・排泄などの活動を通じて自分でしようとする気持ちをもてるようにする。
- 2歳児クラス：一人ひとりの子どもの欲求を満たせるように保育士と一緒に遊び、友達存在を少しずつ認め関わる楽しさを味わえるようにする。
- 3歳児クラス：基本的生活習慣を身につけ、保育士や友達の言うことを理解しようとする。生活に必要な言葉を理解し身近な環境でいろいろなことを経験し、生活を広げていくようにする。
自分の気持ちや思いを言葉で伝え、相手の気持ちにも気付いていく。友達とイメージを共有しながら、一緒に遊ぶ楽しさを感じあう。
- 4歳児クラス：自分でできる事に喜びを持ちながら、身のまわりのことを身につける。保育者や友達に自分の気持ちや思いを言葉で伝えられ、相手の気持ちにも気づいて話を聞けるようになる。意欲的に色々な活動に取り組み、一緒に遊んで楽しいと思える仲間作りをする。
- 5歳児クラス：生活の仕方がわかり、見通しを持って生活を進める。
自分の思いを言葉で伝えようとし、相手の気持ちも知っていきながら友達との関わりを楽しむ。
友だちと一緒に色々な経験をする中で、「できた」という達成感を感じ自信につなげる。

年間、月間、個人カリキュラム、日誌等を通し、評価、反省をしながら課題意識を持ち園児のためにより良い保育を目指し意見交換や話し合いを行った。

(2) 給食 (株)マルワに委託する

委託業者との連携を密に行い、安心安全、楽しい食と情報の提供と健康を守る給食管理を行った。

- ・安心安全の食材の調達と衛生管理、独自の給食献立による食事の提供した
- ・冷凍母乳希望者もいず、離乳食も調理師と食材の硬さや味付けを検討、確認しながら進めることが出来ていた。

- ・アレルギー除去食、可能な範囲での代替食の実施を医師の診断書、指示書により保護者とアレルギーチェックを行い、保育士、看護師、調理員と連携のもと誤食の事故防止を図っていった。

前日 アレルギーミーティング（保育士・看護師・調理師）

当日 調理師同士の声掛けチェック、保育士が調理室に貰いに行く時にチェック表を持参し調理師との食札と言葉でのチェックを行った。

保育室での配膳時の配膳台は、普通食と別の棚に置き保育士同士での声掛けを行っていった。

- ・保護者への情報提供として給食だよりの発行や平均給与栄養量の掲示をした。

(3) 保健

きめ細やかに保護者と子どもの健康状態の情報交換を行い、感染症拡大抑止のための情報提供や、健康相談などを行った。

- ・発育測定 毎月1回 5・4・3歳児視力検査（10月）
- ・内科健診 乳児年4回 幼児年2回 歯科検診 年1回
眼科検診 幼児年1回 耳鼻科検診 幼児年1回
- ・尿検査 5・4歳児 年1回
- ・職員検便 毎月1回
- ・職員の感染症予防接種歴調査
- ・職員対象に麻疹の抗体検査
- ・光化学スモッグ、黄砂、PM2.5の情報公開
- ・けが防止ヒヤリハット活動の充実

健康なからだ作りのために各クラスに対して、看護師による健康に関する教育指導（手洗い・トイレ・歯みがき）を行った。

(4) 環境整備

- ・園庭整備（猫の糞や危険物の点検と掃除を毎朝行った）草むしり（随時）
- ・側溝の掃除、園庭側溝の砂さらい（6/4（土）の保育参観終了後全職員で溝掃除を行った）
- ・土のうの点検（H27年8月から豊中市都市基盤部に借りて置いておく）
- ・古い書類・玩具・絵本の整理、廃棄を行った。（随時）
- ・各クラス子どもたちの成長に合わせて子どもたちが生活しやすいように保育室のコーナー等の整備を行った。（随時）

7. 防災・防犯・安全管理

- ・毎月1回 防災または防犯訓練を実施した。担当者は毎月変わり、火災・地震・浸水・不審者侵入を想定して避難した。紙芝居等での指導も行った。
- ・緊急時の通信手段として、「NTT 災害伝言ダイヤル 171」を保護者に知らせ保育園から伝言を録音して聞いてもらう体験を行った。(9/1・9/3・1/17・1/21)
- ・毎月末安全点検(各クラス、施設全体)を行い危険個所がないか点検すると共に日々の環境整備も心掛けた。
- ・防災管理マニュアルの見直し
- ・ヒヤリハット報告(32件)
 - 棚にぶつかる、保護者が帰りに挨拶来ず、園児が隠れていた為の人数点呼不備、かみつき、ガス元栓の閉め忘れ、殺虫剤の片付け忘れ、ひっかけ、園庭に危険物が落ちている(釘・ガラス片)
- ・事故報告(4件)
 - 痙攣、脱臼、打撲、棚で臉を打って切る
- ・防災備蓄品の再点検と充実
 - 裏門の鍵を表門と同じ番号にして
- ・地域(中桜塚自治会)、母子父子福祉センターと連携し総合避難訓練を行い防災意識を高めた。
(11/29(火) 豊中市北消防署の職員の方に来てもらい通報訓練、避難訓練、消火訓練を行った。ミニ消防車も来て、子どもたちも見学した。)

8. 実習生・中学生職業体験の受け入れ

豊中市第3中2年生	2名	職場体験(CAL)受入れ	10/25・26・27
大阪こども専門学校2年生	1名	実習生受入れ	11/21~12/5(10日間)
豊中市第1中2年生	2名	職場体験(CAL)受入れ	12/6・7・8
大阪青山大学2年生	1名	実習生受入れ	2/13~2/23(10日間)

9. 職員育成と研修計画

- ・乳幼児保育、障がい児保育、虐待、衛生管理、安全管理、指導計画、遊び、造形、感染症、保護者支援、人権、社会貢献について様々な研修に述べ146回参加し会議で報告し資料を回覧し実践につなげていった。
- ・関係機関(豊中市、保健所、保育幼稚園室、大阪府社会福祉協議会、豊中市民間保育園連合会)の研修に参加した。
豊中市民間保育園連合会主催の公開保育で、本園を公開し他園の保育士、施設長25名が参加され公開保育の後話合いの場も設けた。自園の保育を公開し、また自園の困っていること等を他園の保育士と話合う事で視野を広げ、自信にも繋がり保育の充実を図ることができた。

- ・保育園に送られてくる研修の情報を職員に知らせ、自主研修も推奨した。
- ・幼稚園免許更新講習を7、8月に3名の職員が受講した。
- ・職員の腰痛予防体操を行った。(2/24・3/9 18時から19時)

10. 子育て支援事業

- ・保育園の職員の専門性を生かしスマイルサポーターを中心に子育てや食事の相談をうけた。
- ・キッズランド・スイトピー(年7回)
誕生会に参加された方には、プレゼントを用意し一緒にお祝いをした。
七夕の集い、ふれあいカーニバル、体操教室「和」と豊中市スポーツ振興財団の親子体操やベビーマッサージ、新年の集い、おたのしみ会での観劇等に参加してもらった。

11. 地域に必要とされる福祉活動を実践し発信できる保育園作り

- ・社会福祉法人の地域貢献事業としてホームページで、地域の親子に対しての子育て、子育ての相談も含め、共に育つことへの喜びを分かち合えるように園で行われる行事や地域交流をより広く発信した。
8月に行われたセンター夏まつりで、年長児が和太鼓演奏を披露し、職員による「作って遊ぼう」で、地域の方々に楽しんでもらうことができた。
自治会や老人会との交流(ふれあいカーニバル、消防訓練、桜塚公園掃除、寿会新年互例会等)をすることができた。
豊中市民間保育園・私立幼稚園・認定こども園就職フェア参加や中学生職場体験、実習生受入れを行うことで、豊中市の園がどのような保育を行い、子どもたちの未来を明るくするための努力をしているのかを保育士を目指す学生に発信することができた。

平成 28年度 年間行事報告

社会福祉法人 豊中市母子寡婦福祉会
ゆたか保育園

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

月	日	事業名	事業内容
4	1	入園・進級を祝う会	新入・在園全ての親子で入園進級を祝った。
	7	小学校入学式参列 (桜塚小・南桜塚小・緑地小)	H27年度卒園児の小学校入学式に担任・主任・園長が分かれて参列した。
5	18	幼児おにぎり遠足	下原公園・大塚公園へ行き遊具で楽しく遊んだ
	18	クラス懇談会0・3歳児クラス 18:00~19:00	子どもの家庭での様子や悩み事を話し合ったり、入園進級後の子どもたちの様子を伝え、今後の取り組みなども伝えた。
	25	クラス懇談会1・5歳児クラス 18:00~19:00	
31	クラス懇談会2・4歳児クラス 18:00~19:00		
6	1	尿検査	4・5歳児が検査を行った
	4	保育参観	幼児は、親子で豊島公園へ 乳児は親子で触れ合いあそびをして楽しんだ
	7	園外保育 (5歳児)	公共機関を使い大阪市立科学館に行き プラネタリウムを見て星や宇宙への興味が繋がった。
	9	乳児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより行う
	14	幼児おにぎり遠足	長興寺公園へ行って遊具で楽しく遊んだ
	16	歯科検診 (全クラス) 歯磨き指導 (幼児)	嘱託歯科医 小原歯科 中西Drにより行う
	20	個人懇談週20 (月) ~7/1 (金)	家庭での様子や悩み事、保育園での様子等を話合った
	22	スイトピー (地域交流事業)	親子体操 (体操教室和) 10組の親子の参加
	23	耳鼻科検診 (幼児クラス)	嘱託耳鼻科 こうづきDrにより行う
29	プール開き	プールでの約束事を守りながら楽しく遊んだ	
7	6	七夕の集い・スイトピー (地域子育て支援活動事業)	笹飾りに保護者と願いを書き、星の話聞いた12組の親子の参加
	8	お泊り頑張ってね会	お泊り保育をする5歳児の為激励会をした
	9・10	5歳児お泊り保育	箕面市立青少年教学の森に宿泊する
	27	幼児おにぎり遠足	豊島公園へ行き遊具で楽しく遊んだ
8	7	豊中まつり	豊島公園でゆり組が和太鼓演奏を披露する
	21	センター夏まつり	ゆり組が和太鼓演奏を披露する 作って遊べるおもちゃづくりの場も提供した
	22	スイトピー (地域交流事業)	親子体操 (豊中市スポーツ振興財団) 5組の親子の参加
	23	マイクロ遠足 (幼児クラス)	豊中市マイクロバスで下水道科学館へお弁当を持って園外保育に行った
	30	プール閉い	最後のプールを全児で楽しんだ
	7・8月	プール開放 (地域交流事業)	月・水・金11:30~12:00
9	6	敬老の集い (世代間交流事業)	はしか流行疑いのため中止
	7	全児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより行う
	13	幼児おにぎり遠足	山之上公園・轟公園へ行って楽しく遊んだ
	17	ゆたか祭り (保護者主催)	桜塚公園にてゲーム、体操、大道芸など親子一緒に楽しんだ
10	15	ふれあいカーニバル (世代間交流事業)	桜塚公園にて地域、高齢者と運動会を楽しんだ 乳幼児 18名 小学生 13名 高齢者 27名の参加
	20	眼科検診・視力検査 (幼児クラス)	嘱託眼科医 高島Drにより行う
	25・26・27	地域体験学習 (CAL) 受け入れ	豊中市立第三中学校生2名が園児と一緒に遊び保育士の仕事を体験をした
	26	芋掘り遠足 (メディカルホームくらは桃山台ベネッセの畑)	阪急バスを利用し4.5歳児が芋掘り体験をした

11	1	南桜塚小学校作って遊ぼう参加	5歳児が1年生と交流した
	4	マイクロ遠足(幼児クラス)	豊中市マイクロバスで万博記念公園へお弁当を持って園外保育に行った
	4	スイトピー(地域交流事業)	ベビーマッサージ 13組の親子の参加
	8	豚汁大会	園児が掘ってきた芋を使い洗う、皮をむく、切るなどクッキングを行った。
	14~18	保育参観週間	都合の良い日に保育の様子を参観してもらった 和太鼓・体操教室も参観を行った
	21~12/5	実習生受け入れ	大阪こども専門学校2年生 1名
	22	作って遊ぼう	各クラスお店屋さんになり、売り買いのやり取りを楽しんだ
	28~12/9	個人懇談週間	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子等を話し合ったり、成長を喜びあった。
12	29	総合避難訓練(母子センター・中桜塚自治会合同)	火事を想定し桜塚公園に避難、消防職員に来てもらいお話を聞いたり、ミニ消防車をみたりして防災に対する意識を高めた
	6~8	地域体験学習(CAL)受け入れ	豊中市立第一中学校生3名が園児と一緒に遊び保育士の仕事を体験した。
	6	お餅つき大会(世代間交流事業)	自治会老人会の方々と玄米にて餅つきを楽しんだ(マルワにつき手依頼)
	13	乳児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより行う
	13	幼児おにぎり遠足	服部緑地に行き自然の中で遊んだ
1	22	お楽しみ会・スイトピー(地域交流事業)	人形劇団クラルテによる人形劇を楽しみ サンタさんからもプレゼントもらった 11組の親子の参加
	9	和太鼓演奏(桜塚寿会の新年互礼会)	5歳児が福祉会館で和太鼓の演奏をした
	11	新年の集い(地域交流事業)	伝統的な遊びや獅子舞の舞いを見て楽しんだ
2	31	幼児おにぎり遠足	大曾公園へ行き遊具やしっぽ取り等をして楽しく遊んだ
	4	生活発表会(幼児クラス)	歌・劇・和太鼓等を通し成長した姿を見てもらった
	8	クラス懇談会 (2・4歳児クラス 18:00~19:00)	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり、皆で成長を喜びあった
	14	入学体験(緑地小学校)	5歳児が小学校へ期待できるよう体験した
	15	クラス懇談会 (3・4歳児クラス 18:00~19:00)	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり、皆で成長を喜びあった
	17	入学体験(南桜塚小学校)	5歳児が小学校へ期待できるよう体験した
	22	マイクロ遠足(幼児クラス)	豊中市マイクロバスで海遊館へお弁当を持って園外保育に行った
	24	入学体験(桜塚小学校)	5歳児が小学校へ期待できるよう体験した
3	28	クラス懇談会 (1歳児クラス 18:00~19:00)	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり、皆で成長を喜びあった
	2	新入児入園説明会	新入園児の説明を行った
	7	お別れ遠足	5歳児が電車に乗ってニフレルで思い出作りをした
	14	お別れ会	卒園する5歳児に在園児よりプレゼントを渡したりお祝いをした
	16	継続児・新入児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより 継続児・新入児の健診を行った
	14	お別れ会	卒園する5歳児に在園児よりプレゼントを渡したりお祝いをした
	25	修了式	修了した喜びを全員で分かち合える式となった
		プール開放4組の親子の参加 園庭開放39組の親子の参加 誕生会5組の親子の参加	

年間を通して毎月の行事

お誕生会(毎月第3火曜日)給食は誕生会メニュー

発育測定(身長・体重・胸囲)、避難訓練、消火訓練、防犯訓練(危機管理による)、安全点検

衛生検査(頭シラミ、手足の爪などの検査)

4・5歳児・・・月一回和太鼓の稽古

2・3・4・5歳児・・・月二回体操教室

園庭開放(月~金) 絵本貸出(第1・3金曜日)

その他個人懇談、育児相談は随時

和太鼓(4・5歳児)

体操教室(2・3・4・5歳児)

平成 28 年度 わかば保育園事業報告書

1. 基本方針

保育課程にのっとり、子どもたちの美しい心を育む
健やかなからだを育む
豊かな夢を育てる

を保育理念とし

保護者に安心、信頼していただける園運営を目指し保育の中で工夫や一人一人の子どもの特性を生かし、それを伸ばせるような保育を職員全員で考え、実践していくようにした。

多様な保護者に安心していただけるように支援にも努力し、継続の家庭はもちろん外国籍の方、育児困難を抱える方など保護者の立場に立ち、親切に、丁寧に関わり安心しあえる関係を築いていくようにした。

家庭での食生活、生活習慣が子どもたちの心と体をつくり、また保育園生活においても保育・給食・保健が連携し合い、食べること、作ること、体を守ること、自分を大切にすること、命のつながりなど、わかば保育園ではそのことを保育方針、保育目標として保育を充実させるよう努力し、保護者との信頼関係を築いていくようにした。

(1) 保育の充実

- ・乳幼児の発達保障のための落ち着いた日常生活を大切にした保育方針をもとに、子どもの発達や月齢構成に応じた生活やカリキュラムの工夫を行い健康なからだと安定した豊かな情緒を育てていく。
- ・園の活動や行事の目的を明確にし、実施し、活動の評価を行いながら、子どもたちの成長や満足感を引き出す工夫をし、子どもたちに必要な体験と成長を考えた保育をし、園と子どもたちで楽しい毎日を積みあげていく。
- ・保護者の疾病などを理由に入所してくる子どもの中には保護者の精神状態の影響を強く受けることもあるので、そのことを深く理解し、子どもの行動情緒面を受け止め、子どもの気持ちに寄り添って、親子関係が安定するように保育することを大事にする。

これらのことを一年通し担任同士、管理者とともに実現できるように努力した。

(2) 保護者への支援

- ・いろいろな困難を抱える保護者に寄り添い、必要に応じて相談にのり、保護者

の気持ちが安定し、子どもとの生活に安心できるような子育て支援となる保育を行う。関係機関との連携も速やかに取れるようにしておく。

- ・発達支援・育児不安など支援の必要な家庭は園外の関係機関とも連携し、親子の生活が安定することをめざす。

これらのことを豊中市の機関や保健センターと連携しより良い支援ができるようにした。

(3) 地域交流事業

わくわくサークル（未就園児対象）、保育園行事参加、異年齢交流事業、世代間交流事業に取り組み、地域を含めて親子の育ちを応援した。

(4) 職員育成

新卒入職する職員、臨時職員、中堅以下の職員の保育力、専門性の向上を主任をはじめとしたベテラン職員による後輩育成の流れをつくるようにし、アクティブラーニング研修、主任研修や他園公開保育などを経て気づきを得る機会を設けるようにすることができた。

(5) 運営の組織化

運営委員会の定例開催を図り、保育・保健・給食それぞれの課題共有と解決を図り、人事考査、園の定員数、職員数の見直し、運営の充実の検討を重ねていくようにした。

2. 児童定員 45名 (H29. 3月時点)

年齢児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
クラス名	ひまわり	こすもす	すみれ	さくら	
人数	12名	16名	15名	6名	49名
内障がい児		1名			1名

3. 保育園開所時間

午前7時00分～午後6時30分

午後6時30分～午後7時00分（延長保育）

4. 職員配置

園長（1） 主任保育士（1） 常勤保育士（11） 看護師（1）
非常勤保育4h～7h（5） 朝夕パート（2） 事務（1）・・・22名
嘱託医【内科・歯科・耳鼻科・眼科】（4） 委託調理師・調理員（3） 委託栄養士（1）

5. 運営方針

(1) わかば保育園の運営管理を円滑に行うために次の会議を開催した。

- ・職員会議 月1回 定例会議
- ・保育会議 月1回 定例会議
- ・部署会議 各月1回 食育会議・アレルギー会議・リーダー会議
- ・運営会議 年2回
- ・施設会議 月1回 定例会議
- ・苦情解決委員会 必要があれば随時 報告会年1回
- ・園内人事委員会 随時

(2) 各種係を設置し職員全員が分担し運営した。

- ・行事係
 - *ファミリー交流会 *プール開き、終い *七夕の集い *わかば祭り
 - *運動会 *ハロウィーンお芋パーティー *作って遊ぼう
 - *お楽しみ会 *新年のつどい *わかばっこ発表会 *入園式・修了式
 - *誕生会
- ・地域支援
 - わくわくサークル・園行事に参加・世代間交流事業・異年齢交流事業
- ・親睦会係
 - 歓送迎会、忘年会、新年会、
- ・訓練実施計画と実行（避難訓練）

6. 保育方針

(1) 基本方針

- ・保育はクラス別基本方針にのっとり安全安心で楽しく成長促進となる保育園生活を営む
- ・最低基準を順守し、園児の安定を大切にする

クラス別保育方針は以下の通り

- 0歳児クラス：8か月～の乳児 発達の違う乳児に応じた保育を工夫する
生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る
- 1歳児クラス：保育士と安心できる関係を築き、食事・排泄などの活動を通じて自分でしようとする気持ちをもてるようにする
- 2歳児クラス：一人一人の子ども欲求を満たせるように保育士と一緒に遊び、友達の存在を少しずつ認め関わる楽しさを味わえるようにする
- 3歳児クラス：基本的生活習慣を身につけ、保育士や友達の言うことを理解しようとする、生活に必要な言葉を理解し身近な環境でいろいろなことを経験し、生活を広げていくようにする

* 年間、月間、個人カリキュラム、日誌の中で実行できるよう検証し課題を意識しながら園児のためにより良い保育を目指そうと努力することができた。

(2) 給食 (株) マルワに委託する

楽しい食と情報の提供と健康を守る衛生、給食管理を行うよう食育会議や随時疑問点など伝達し、改善を重ねマルワと安心・安全な給食を提供できた。

- ・アレルギー児のアレルゲン内容の変化や緩和により保護者とアレルギーチェックを医師診断書・指示書でその都度行い、マルワと献立上の確認、食材、調味料、市販菓子の裏表示のコピー成分表を確認した。各クラスのアレルギーボードは前日に必ず記入し、厨房と口頭でやり取りしそれを基に配膳直前まで複数の職員でチェックし、誤食の事故に至らないようにした。

(毎月給食日より配布、平均給与栄養量掲示)

- ・食品の安全性の確認(海苔、鶏肉)をし、保護者向けの掲示をマルワから提示してもらった。

(3) 保健

きめ細やかに保護者と子どもの健康状態の情報交換を行い、感染症拡大抑止のための情報提供や(園内掲示)、健康相談などを行った。

- ・発育測定 毎月1回 3歳児視力検査(10月)
- ・内科健診 年4回 歯科検診 年1回 眼科検診 年1回
耳鼻科検診 年1回
- ・職員検便 毎月1回
- ・光化学スモッグ、黄砂、PM2.5の情報公開
- ・けが防止ひやりハット活動の充実

健康なからだ作りのために各クラスに対して、看護師による健康に関する教育指導も行なった。(年5回)

(4) 環境整備

- ・園庭整備・プール日よけ幕の設置・施設周辺の電灯の整備
- ・側溝の掃除、園庭側溝の砂さらい、ネコよけ対策
- ・古い書類の整理、保管、廃棄

7. 防災・防犯・安全管理

- ・毎月1回 防災訓練の実施(消火訓練)、安全点検(各クラス、施設全体)、防災管理マニュアルの見直しを行った。
- ・ヒヤリハット報告、事故報告から事故防止充実と改善を会議で行った。
- ・防災備蓄品の再点検と期限の確認をし、園児と試食をした。
- ・防災対策行動の再点検を係りと行った。

- ・地域と連携し総合防災訓練を行った（消防署員参加も有）。
- ・防犯、交通安全、防災教育は紙芝居も用い、訓練の充実をはかった。

8. 実習生・中学生職業体験の受け入れ

今年度は保育学生の実習受け入れなし

9. 職員育成と研修計画

- ・公開保育、民間連合研修会、園内研修などに参加し自己の保育を振り返り、視野を広げて保育の充実と日常の保育での気づきにより保育士としての資質を向上するようにした。
- ・関係機関（豊中市、保健所、保育幼稚園室、社会福祉法人）の研修に参加した。
- ・幼稚園免許更新講習1名受講し修了した。
- ・自己の保育を知り会議等で意見交換をし、日々の保育向上に努力した。
- ・他園との交流、見学などを実施して視野を広げるようにした。
- ・園内ヒヤリングやストレスチェック・職業病予防の運動療法研修を行い自己の健康充実をはかった。

10. 子育て支援事業

- ・在籍するスマイルサポーターの特性を生かして地域の方の育児相談などを受け、入所手続きや相談窓口、関係機関につなぐことができた。
見学希望の際に誕生日会や園行事のことを伝えより園のことがわかる機会をつくった。
- ・わくわくサークル（未就園児対象）・・・年間11回
園児との交流を含め、誕生日会参加で誕生絵本を進呈しよろこばれた。
地域総合避難訓練参加近隣にも呼びかけ消防訓練実施で訓練の大切さを実感できた。人形劇団観劇、その他園行事にも多数参加頂き、別日に見学を申し出され入所希望にもつながった。

11. 地域に必要とされる福祉活動を実践し発信できる保育園作り

わかば保育園、ゆたか保育園共有のホームページを発信し、園で行われる行事地域むけサークルを今までよりも広く発信し、未入所児や保護者のために子育て・子育ての相談も含め、ともに育つことへの喜びを分かち合えた。

近隣施設の豊中市障がい福祉センターひまわりでの地域行事に参加し、保護者と園児が地域施設の活動に視野が広がったことは良かった。また、ファミリー交流会運動会、わかばっこ発表会を同センター内体育館にて行い保護者の多数参加で楽し

い行事となった。

また、豊中市民間保育連合会就職フェアに参加し、園見学数名、面接4名
H29年度の新雇用2名に至ることとなった。

12. わかば保育園の増築

わかば保育園隣接地の稲津町第2児童遊園が廃止され、新関西国際空港(株)に返還されたことを受けて、保育内容の充実を図るとともに待機児童解消の一助に資するため、わかば保育園を増築することとしました。28年度は隣接地の約半分の土地(地番;稲津町一丁目62番8、62番9。面積;254,94㎡)を平成29年3月に新関西国際空港(株)から購入しました。

増築により児童定員を45名から60名に増員し、増築建物は木造(2×4工法)2階建、延床面積は約245㎡(既存棟312㎡)、開設は平成30年4月を予定しています。

なお、増築に伴う会計処理を行う「建設会計」拠点区分を設け、会計の明確化を図りました。

平成 28年度 年間行事報告

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

月	日	行事名	行事内容
4	1日	入園・進級を祝う会	園児 職員
		新入児慣らし保育	0歳児・・・6名 園長・・・・・・1名
	1日	クラス懇談会（0歳児クラス）	子どもの家庭での様子や悩み事、
	12日	クラス懇談会（1歳児クラス）	保育園での様子
	14日	クラス懇談会（2歳児クラス）	などを話し合った
	15日	クラス懇談会（3歳児クラス）	計 49名
	20日	避難訓練（地震）	嘱託医・・・・・・4名 委託調理員・・・・3名 委託栄養士・・・・1名 計22名
5	10日	避難訓練（出火）	事務所から出火と想定し、隣の公園に避難した
	16日	歯科検診（全児）	嘱託医（五條歯科 清水医師）
	19日	野田こども園との交流会	さくら広場でパラバルーン等の交流を楽しんだ
		個人懇談会 （5/16～5/20 0歳児）（5/23～5/27 1歳児）	午睡時間やお迎えの時間を利用して園でのようすを伝えたり家庭でのようすを聞いたりした
6		個人懇談会 （6/1～6/3 3歳児）（6/6～6/10 2歳児）	
	4日	ファミリー交流会	障害福祉センターひまわりにて自己紹介やみんなで楽しめるゲームを行い、家族・職員交流を楽しんだ
	6日	乳児内科健康診断（0・1・2歳児クラス）	嘱託内科医（明石医院・明石先生）
	7日	わくわく（地域交流行事）	参加者なく3歳児と0歳児との交流を楽しんだ
	9日	防犯訓練（不審者侵入）	紙芝居「いかのおすし」を見てさすまたの説明を聞いた
	14日	避難訓練（出火）	調理室から出火と想定し、園庭前道路に避難した
	24日	耳鼻科検診（3歳児クラス）	嘱託医（フルヤ耳鼻科 古谷先生）
	30日	歯磨き指導（2・3歳児クラス）	看護師による指導
7	1日	プール開き	水に親しみながら健康な体作りを行っていった
	2日	就職フェア	職員2名で参加した
	7日	七夕の集い（地域交流行事）	七夕についての話を聞き、地域の方々、各クラスごとに☆のシール貼りをして飾りを作った
	14日	避難訓練（地震）	防災頭巾を被って避難した
	21日	野田こども園との交流会	野田こども園にて、色水遊び等の交流を楽しんだ
		プール開放（地域交流行事）	地域の親子に開放（11:00～11:45）〈8月まで〉
		足型とり	土踏まずの形成を見た
8	4日	避難訓練（台風）	紙芝居を見て台風時の避難について学んだ
9	2日	プール終い	できるようになったことを伝え合い、喜び合った
	5日	内科健康診断（全児）	嘱託医（明石医院 明石先生）
	6日	防犯訓練（不審者侵入）大阪880万人訓練	さすまたを使用して訓練した
	10日	わかば祭り（地域交流行事）	夜店を中心に保護者や地域の方々との交流を深めた。クラウンレミちゃんによるバルーンアートやジャグリングのパフォーマンスも楽しんだ
	13日	消防総合訓練・消防車来園	通報・避難・消火の総合訓練を行い、近隣住民にも口頭で声かけを行った
10	4日	マイクロバス遠足（3歳児クラス）	豊中市のマイクロバスを利用し、スカイランド HARADAにて園外保育を行った
	7日	運動会練習（2・3歳児クラス）（体操教室を兼ねて）	野田町広場にて練習を行った
	14日	運動会予行（体操教室を兼ねて）	障害福祉センターひまわりにて運動会に向けて日頃の様子を表現できるようにみんなで作り上げた
	19日	運動会予行（体操教室を兼ねて）	障害福祉センターひまわりにて日頃の様子を伸びのびと表現し、地域の方もプログラムを楽しんだ
	22日	運動会（地域交流行事）	児童の発生を想定し保育室の中央に避難した
	24日	避難訓練（竜巻）	看護士による検査
	26日	視力検査（3歳児クラス）	嘱託医（もりおか眼科 森岡先生）
	27日	眼科検診（3歳児クラス）	ビデオを視聴して意見交換し、人権意識を深めた
	27日	職員人権研修	全員が仮装して言葉のやりとりやスイートポテトのやり取りを楽しみ、さわだ家庭保育所や地域の親子との交流も行った
	31日	ハロウィン&おもいパーティー（地域交流行事） 弁当日	

月	日	行事名	行事内容
11	7日	個人懇談会 0歳児 (28日～12月2日) 1歳児 (21日～25日) 2歳児 (7日～11日) 3歳児 (14日～18日)	午睡やお迎えの時間などを利用して、子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり、成長を喜び合ったりした
	10日	わくわく みんなで遊ぼう会 (地域交流行事)	さわむらしげはるとにここ楽団によるパフォーマンスを地域の親子も一緒に楽しんだ
	11日	避難訓練 (漏電)	漏電の発生を想定し、避難した
	14日	作品展 (～25日)	11月までに作った作品を、保育園内のあらゆる場所に展示して、保護者の方に見てもらった
	15日	手洗い・うがい指導 (2.3歳児クラス)	看護師による指導
	18日	豊中市スポーツ振興事業団体操教室 (3歳児クラス)	縄や巧技台、動物の絵カードなどを用いた体操教室を伸びのびと楽しんだ
	28日	作って遊ぼう会	縦割りグループでの交流を楽しみながら、子どもたちが作った物も使って遊んだ。
12	5日	乳児内科健康診断 (0・1・2歳児クラス)	嘱託医 (明石医院 明石先生)
	6日	防犯訓練 (不審者侵入・さすまたの使用)	無予告で侵入者に対応する訓練を実施した
	12日	避難訓練 (ガス漏れ)	園庭から近隣の公園への避難を想定しピロティで話を聞く
	20日	お楽しみ会 (地域交流事業)	あっぷうのパフォーマンスをみんなで楽しんだ
1	11日	新年の集い (地域交流事業)	十二支のペープサートを見たり、コマ回しや羽根つき・カルタなどのお正月遊びを楽しんだりした
	27日	避難訓練 (出火)	消火訓練を実施。非常食を給食時間に全員で試食した
2	7日	避難訓練 (地震)	防災頭巾を被って避難。非常食、避難経路の確認をした
	8日	わかばっこ発表会 (生活発表会) 合同練習	
	15日	わかばっこ発表会 (生活発表会) 第1回予行	
	22日	わかばっこ発表会 (生活発表会) 第2回予行	
	25日	わかばっこ発表会 (生活発表会)	ローズ文化ホールにて行い、保護者や祖父母などにも出席して 頂き子どもたちの1年の成長をみんなで喜び合った
	27日	クラス懇談会 (3歳児クラス)	成長を喜び、修了式について連絡事項を伝えた
3	1日	わくわく おはなし会 (地域交流行事)	人形劇団「大福」さんが来園。人形劇を地域の方々と一緒に楽しんだ
	2日	防犯訓練 (飛び出し注意、迷子)	紙芝居を見た後に注意事項について話を聞いた
	3日	内科健康診断 (全児)	平成29年度の新人児の健康診断後に入園説明会を実施した
		新入児入園説明会、内科健康診断	
	7日	クラス懇談会 (1歳児クラス)	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり、成長を喜び合ったりした
	9日	クラス懇談会 (2歳児クラス)	
	9日	避難訓練 (漏電)	誕生会後に訓練実施、地域の方も一緒に避難した
	10日	クラス懇談会 (0歳児クラス)	
	11日	新入児個人面談	平成29年度の新人児の個人面談を行った
	16日	お別れ遠足 (3歳児クラス) 弁当日 (全児)	豊中市のマイクロバスを利用し、キッズプラザ 大阪にて園外保育を行った
	23日	修了式予行 (全児) お別れ会	修了・退園の友だちを囲んでお別れ会をした
24日	修了式	全児、3歳児クラスの保護者、転園児の保護者、職員みんなで修了を祝った	

年間を通して毎月の行事

お誕生会 (毎月第4木曜日)

発育測定 (身長・体重・胸囲)

避難訓練、防犯訓練 (危機管理による)、安全点検

衛生検査 (毎週初めに頭シラミ、手足の爪などの検査)

延長保育事業

地域交流 (わくわく) 月1回

マイクロバス遠足 (3歳児クラス 年2回)

体操教室 (2・3歳児クラス 年間10回) 「和」西端一樹先生による指導

市立豊中病院売店(ローソン)の運営状況

(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

売店の運営状況

(単位 千円)

(1) 売店の月次損益

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
売上高	13,840	14,105	14,788	15,476	15,545	15,065	15,437	14,393	15,171	14,096	13,867	15,463	177,246
その他の収入												567	567
収入 計(A)	13,840	14,105	14,788	15,476	15,545	15,065	15,437	14,393	15,171	14,096	13,867	16,030	177,813
仕入等営業費用	11,946	12,171	12,708	13,390	13,500	12,990	13,341	12,495	13,031	12,145	12,034	13,692	153,443
(ローン/ノンチャージ)	(2,306)	(2,422)	(2,467)	(2,580)	(2,622)	(2,577)	(2,619)	(2,463)	(2,606)	(2,403)	(2,381)	(2,638)	(30,085)
人件費等	1,601	1,614	2,207	1,526	1,625	1,664	1,500	1,754	2,333	1,656	1,586	1,506	20,572
(クルー給与)	(1,056)	(890)	(986)	(963)	(963)	(1,102)	(1,022)	(1,127)	(1,071)	(1,013)	(1,060)	(947)	(12,200)
営業等費用(B)	13,547	13,785	14,915	14,916	15,125	14,654	14,841	14,249	15,364	13,801	13,620	15,198	174,015
営業損益 (C)=(A)-(B)	293	320	△127	560	420	411	596	144	△193	295	247	832	3,798
その他の損益差額(D)	△1	△1	△1	△1	△1	△1	△1	△1	△1	△1	△1	△1	△12
経常損益(E)=(C)+(D)	292	319	△128	559	419	410	595	143	△194	294	246	831	3,786
特別損益(F) 本部へ												△4,500	△4,500
損益 (E)+(F)	292	319	△128	559	419	410	595	143	△194	294	246	△3,669	△714
(前期繰越 2,013)												(次期繰越 1,299)	1,299

(2)売上高と客数

①売上高 (単位 千円)

	28年度(対前年度比)	27年度(対前年度比)	26年度
1年当り	177,246 (1,046)	169,340 (1,055)	160,462
1月当り	14,770	14,111	13,371
1日当り	485	462	439

②客数

1年当り	386,725人 (1,069)	368,950人 (1,020)	361,596人
1月当り	32,227人	30,745人	30,133人
1日当り	1,059人	1,008人	990人